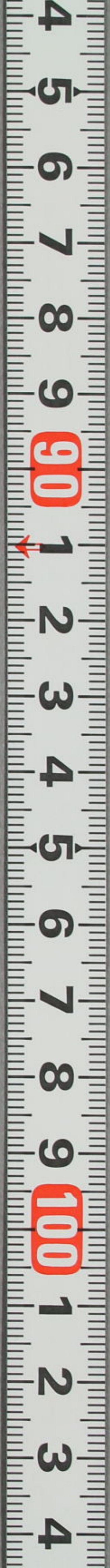




女神明前  
和泉屋市兵衛版

^13  
3886



市川白猿作  
歌川芳信画

全本六冊

加三味線閨儿彈上

天保四癸巳年正月發行

東都書肆  
甘泉堂梓



3886

かさ さ ん ね や の つ り び き

一の系ハ

廓の月おきしあまの影のさかすか... 仲の町おきしあまの影のさかすか... 袖おきしあまの影のさかすか...

二の系ハ

廓の雪おきしあまの影のさかすか... 廓の雪おきしあまの影のさかすか... 廓の雪おきしあまの影のさかすか...

三の系ハ

廓の雨おきしあまの影のさかすか... 廓の雨おきしあまの影のさかすか... 廓の雨おきしあまの影のさかすか...

五柳亭徳升戯述



五柳亭徳升

よし  
 むら  
 家  
 持  
 の  
 死  
 多  
 摩  
 谷  
 新  
 兵  
 衛  
 進  
 後  
 宮  
 の  
 文  
 字  
 金  
 華  
 巾  
 多  
 摩  
 谷  
 新  
 兵  
 衛



出  
 邑  
 新  
 兵  
 衛



三  
 國  
 屋  
 小  
 女  
 郎

里見の浪人

里見の浪人  
鶺鴒飼九十郎



雪乃山  
里見の浪人  
鶺鴒飼九十郎

多摩谷新兵衛



三国屋四郎兵衛

多摩谷新兵衛  
妻也



三浦の山

此の山は三浦の山なり  
 竹の葉は青く  
 山は高く  
 雲は白く  
 水は清く  
 鳥は鳴く  
 虫は鳴く  
 人は行く  
 人は来る

此の山は三浦の山なり  
 竹の葉は青く  
 山は高く  
 雲は白く  
 水は清く  
 鳥は鳴く  
 虫は鳴く  
 人は行く  
 人は来る

此の山は三浦の山なり  
 竹の葉は青く  
 山は高く  
 雲は白く  
 水は清く  
 鳥は鳴く  
 虫は鳴く  
 人は行く  
 人は来る

此の山は三浦の山なり  
 竹の葉は青く  
 山は高く  
 雲は白く  
 水は清く  
 鳥は鳴く  
 虫は鳴く  
 人は行く  
 人は来る



此の山は三浦の山なり  
 竹の葉は青く  
 山は高く  
 雲は白く  
 水は清く  
 鳥は鳴く  
 虫は鳴く  
 人は行く  
 人は来る

此の山は三浦の山なり  
 竹の葉は青く  
 山は高く  
 雲は白く  
 水は清く  
 鳥は鳴く  
 虫は鳴く  
 人は行く  
 人は来る





此の如くは、  
 女は子を  
 抱き、男は  
 膝を打つて  
 泣く。此の  
 状は、  
 悲しみの  
 極まりなり。

此の如くは、  
 女は子を  
 抱き、男は  
 膝を打つて  
 泣く。此の  
 状は、  
 悲しみの  
 極まりなり。

此の如くは、  
 女は子を  
 抱き、男は  
 膝を打つて  
 泣く。此の  
 状は、  
 悲しみの  
 極まりなり。

此の如くは、  
 女は子を  
 抱き、男は  
 膝を打つて  
 泣く。此の  
 状は、  
 悲しみの  
 極まりなり。



此の如くは、  
 女は子を  
 抱き、男は  
 膝を打つて  
 泣く。此の  
 状は、  
 悲しみの  
 極まりなり。

此の如くは、  
 女は子を  
 抱き、男は  
 膝を打つて  
 泣く。此の  
 状は、  
 悲しみの  
 極まりなり。

此の如くは、  
 女は子を  
 抱き、男は  
 膝を打つて  
 泣く。此の  
 状は、  
 悲しみの  
 極まりなり。



らんまよけのあん平ハ  
サヤクハシロとシキと  
サヤクハシロとシキと  
サヤクハシロとシキと  
サヤクハシロとシキと

サヤクハシロとシキと  
サヤクハシロとシキと  
サヤクハシロとシキと  
サヤクハシロとシキと  
サヤクハシロとシキと

あん平ハ  
サヤクハシロとシキと  
サヤクハシロとシキと  
サヤクハシロとシキと  
サヤクハシロとシキと

らんまよけのあん平ハ  
サヤクハシロとシキと  
サヤクハシロとシキと  
サヤクハシロとシキと  
サヤクハシロとシキと



らんまよけのあん平ハ  
サヤクハシロとシキと  
サヤクハシロとシキと  
サヤクハシロとシキと  
サヤクハシロとシキと

サヤクハシロとシキと  
サヤクハシロとシキと  
サヤクハシロとシキと  
サヤクハシロとシキと  
サヤクハシロとシキと

あん平ハ  
サヤクハシロとシキと  
サヤクハシロとシキと  
サヤクハシロとシキと  
サヤクハシロとシキと

らんまよけのあん平ハ  
サヤクハシロとシキと  
サヤクハシロとシキと  
サヤクハシロとシキと  
サヤクハシロとシキと









Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a narrative or dialogue related to the illustration. The text is written in a cursive style (sōsho) and occupies the upper and side portions of the page.



Handwritten Japanese text in vertical columns, located above and to the left of the illustration on the right page. The text is written in a cursive style and appears to be a continuation of the narrative from the left page.





Handwritten text in the upper left section of the left page, consisting of several columns of vertical Japanese characters.



Handwritten text in the lower left section of the left page, continuing the vertical columns of characters.

Handwritten text in the upper right section of the right page, consisting of several columns of vertical Japanese characters.



Handwritten text in the lower right section of the right page, continuing the vertical columns of characters.

Vertical text on the right edge of the right page, possibly a page number or a reference mark.









癸巳ノ春

新板

市川白猿作  
 歌川芳信画  
 加三味線  
 全五冊  
 閨爪彈  
 甘泉堂板



三齋堂

外題  
國貞画

下



我々此所より勢もた

白猿作 全五冊

己のま

茶番早合點三編二冊

初昔茶番出花

は中へちやせん好の作方さあはは後  
ありてあう有るあのかまそは後ゆのそ  
のそあうりありありのよはる

近日書知 逆澤氏

慈悲成門人

櫻川一聲戯作

慈悲成校合

歌川國芳画

芝神明前三嶋町

和泉屋市兵衛板



三

十













此の世に...  
 此の世に...  
 此の世に...  
 此の世に...  
 此の世に...

此の世に...  
 此の世に...  
 此の世に...  
 此の世に...  
 此の世に...



此の世に...  
 此の世に...  
 此の世に...  
 此の世に...

此の世に...  
 此の世に...  
 此の世に...  
 此の世に...  
 此の世に...

此の世に...  
 此の世に...  
 此の世に...  
 此の世に...  
 此の世に...



此の世に...  
 此の世に...  
 此の世に...  
 此の世に...

七三  
 此の物語は  
 昔の事なり  
 今も語り  
 傳へる事  
 多しなり  
 此の物語  
 昔の事なり  
 今も語り  
 傳へる事  
 多しなり



七三  
 此の物語は  
 昔の事なり  
 今も語り  
 傳へる事  
 多しなり

七二  
 此の物語は  
 昔の事なり  
 今も語り  
 傳へる事  
 多しなり

此の物語は  
 昔の事なり  
 今も語り  
 傳へる事  
 多しなり



七二  
 此の物語は  
 昔の事なり  
 今も語り  
 傳へる事  
 多しなり





市川三升自作  
五折亭徳汁校合



ついでに... 仙文香... 美玄香... 右の... 左の... 三丁目角... 製法

金毘羅船利生 第九編 曲亭馬琴作

新編金瓶梅 第二編 曲亭馬琴作

三國志西傳第六編 加三味線 関元作

両顔忍夜櫻 全八冊 立川馬安画

睦月深仲町 全六冊 鶴屋南北画

新古今西行櫻 全六冊 柳亭種彦作

版元 和泉屋市兵衛

三升の

